

2024年1月5日

各位

株式会社北洋銀行  
株式会社北海道二十一世紀総合研究所

## ロケット開発・製造スタートアップのインターステラテクノロジズ株式会社様に 「北洋 SDGs 推進 2号ファンド」を通じて出資しました

株式会社北洋銀行、株式会社北海道二十一世紀総合研究所は、2023年12月27日付でインターステラテクノロジズ株式会社様(本社:大樹町 代表:稲川 貴大様、以下 IST 社)に「北洋 SDGs 推進 2号ファンド(北洋 SDGs 推進 2号投資事業有限責任組合、以下本ファンド)」を通じて1,700万円を出資しました。

IST 社は、民間単独開発のロケットとして国内で初めて宇宙到達に成功した北海道を代表するスタートアップです。国主導で進められてきたロケット事業を、IST 社は民間の部品利用や設計から製造まで社内で完結できる生産体制を築くことにより、低価格での提供および受注から打ち上げまでの期間短縮を実現してきました。

宇宙・ロケット分野はすそ野が広く、道内経済への波及効果が大きい産業です。雇用の面でも地方創生に直結する IST 社の事業を評価し、2017年に「北洋イノベーションファンド」にて出資しています。その後は、開発中であった観測用ロケットの打ち上げが成功し、当時10数名だった従業員も140名程度まで拡大しております。現在は小型人工衛星打ち上げ用ロケット「ZERO」の開発に取り組んでおり、2024年度以降の打ち上げを目指しています。

政府は宇宙開発戦略本部を中心に宇宙関連スタートアップへの支援を強化し、北海道・札幌市・経済産業省北海道経済産業局も STARTUP HOKKAIDO を設立し宇宙分野に注力しています。当行も中期経営計画で宇宙分野への取組みを強化しており、地域経済に大きく貢献している IST 社の事業を高く評価し、本ファンドを通じて出資しました。本件が15件目の出資となります。



以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関するプレスリリースには、該当する SDGs のアイコンを明示しております。  
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標、17のゴールと169のターゲットで構成される。